



ヒトに真似のできない能力——渡り

トリは、ヒトが真似られない能力をたくさん持っていますが、そのひとつに「**渡り**」という冒險旅行があります。トリが正しい方向に飛んで目的地に達するには、いろいろな要素があると考えられます。しかし、トリの研究のなかでも、これはまだわからぬ問題です。——何の計器も持たず、波のほかに何も見えない海上を、何千キロも離れた遠いところから、まっすぐに飛んでくるのです。しかも、シギという小さなりは、アラスカからハワイまでの2000キロの海上を、1回も休まず飛び続けて目的地に降ります。小さなからだにたくわえられたエネルギーをどんなに効率的に使うのか、ヒトのつくった動力機関などからは、まったく想像もできません。形の上でも能力の上でも、トリたちは神祕ともいべき特徴をそなえています。

トリは自然がつくった文化財

トリは、自然がつくった文化財です。人工の建造物と違って、その種が先祖から伝えてきた生殖細胞だけしか、再建の能力はありません。種がほろべは、その再生の望みはまったく絶えてしまうことになります。世界の文明図が、莫大な国費をつかって少なくなったトリの保護に努力しているのも、各国の間に渡り鳥条約を結び、国境を越えて努力しているのも、いちど絶滅してからでは間に合わないからなのです。アメリカでは、渡り鳥の保護関係だけで、150億円の予算を計上しました。日本では、去年の日米渡り鳥条約から、ようやく自然保護も「世界の仲間入り」をしたといえます。

——ことしもまた、たくさんのトリたちが南へ潜り、たくさんのトリたちが日本へ渡ってきました。秋から冬への「**渡りの季節**」は、都会のまんなかでも思いがけないトリを見かける楽しさがあります。冬鳥として各地でますますトリたちの姿は、ヒトにとって大きなくなるだけではなく、トリが住める、ということでお、ヒトが生存している自然環境の破壊や汚染をくいとめる大きな目安とすることができるのです。石を投げないでください。追わないでください。友だちになってください。トリは、私たちの仲間です。



ヒトの中の「トリ」の原義

**財団法人 日本鳥類保護連盟
サンタリー株式会社**

●この広告は、財団法人日本鳥類保護連盟の指導を得て、サンタリー株式会社がシリーズとして制作するものです。



愛鳥の心が育てるよい環境⑦

(日本鳥類保護連盟募集第一席入選愛鳥標語)

ト
リ
た
ち
が
還
っ
て
き
た